

はじめよう! エコドライブ!

ふんわりアクセル『eスタート』

地球温暖化対策の中で一番大きな課題なのがCO₂の排出量削減。このCO₂の排出量を減らすには化石燃料の消費を減らす必要があります。運輸部門のCO₂排出量は全体の21%。その中でも自家用車からの排出量が約半分を占めており、自家用車から排出されるCO₂を削減することが急務です。

エコドライブとは、一言でいうと「環境に配慮した自動車の使用」のことです。具体的には、やさしい発進を心掛けたり、無駄なアイドリングを止めたりして燃料の節約に努め、地球温暖化に大きな影響を与える二酸化炭素(CO₂)の排出量を減らす運転のことです。

警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省では、効果及びやりやすさ等を考慮して最も勧めたい10個の項目について『エコドライブ10のすすめ』を策定しております。

『エコドライブ10のすすめ』を実践していただき、地球にやさしい運転を心掛けましょう。

みんなで止めよう温暖化 チーム・マイナス6%

<http://www.team-6.jp/ecodrive/>

エコドライブ10のススメ ムービー編

<http://www.team-6.jp/ecodrive/10recommendation/index.html>



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% www.team-6.jp

地球と走ろう 環境にやさしいエコドライブで

1 ふんわりアクセル 『eスタート』

やさしい発進を心がけましょう。

普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安です）だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりとした気分で運転しましょう。

2 加減速の少ない運転

車間距離は余裕をもって、
交通状況に応じた
安全な定速走行に努めましょう。

車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

3 早めのアクセルオフ

エンジンブレーキを
積極的に使いましょう。

エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジンブレーキを活用しましょう。

4 エアコンの使用を 控えめに

車内を冷やし過ぎない
ようにしましょう。

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

エコドライブ 10のすすめ



エコドライブ普及推進協議会
事務局 交通エコロジー・モビリティ財団

6 暖機運転は適切に

エンジンをかけたら
すぐ出発しましょう。

現在販売されているガソリン乗用車においては暖機不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。

5 アイドリングストップ

無用なアイドリングを
やめましょう。

10分間のアイドリング（ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐車停車の際にはアイドリングを止めましょう。

7 道路交通情報の活用

出かける前に計画・準備をして、
渋滞や道路障害等の
情報をチェックしましょう。

1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。

8 タイヤの空気圧を こまめにチェック

タイヤの空気圧を適正に保つなど、
確実な点検・整備をしましょう。

タイヤの空気圧が適正值より50kPa (0.5kg/cm²) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

9 不要な荷物は 積まずに走行

不要な荷物を積まない
ようにしましょう。

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。

10 駐車場所に注意

渋滞などをまねくことから、
違法駐車はやめましょう。

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われています。

平成 21 年 12 月 11 日 愛媛県主催のエコドライブ推進員養成教習会が城西自動車教習所であり職員が参加しました。

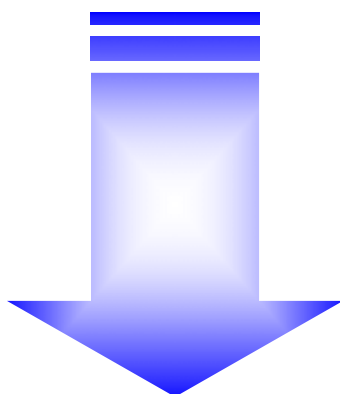


まずは、エコドライブメーターを設置した車で、普段どおりの運転をし、約 2.5 km の市街地コースを走りました。



次に、エコドライブの講習を受け、『**ふんわりアクセル・加減速の少ない運転・早めのアクセルオフ・アイドリングストップ**』に気をつけ、同じコースを走りました。

結果は

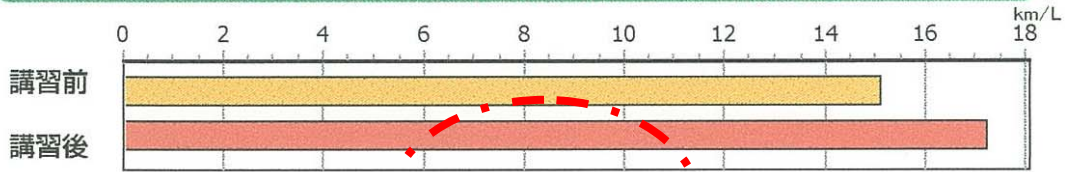


エコドライブ講習 診断書

城西自動車学校

受講者氏名	K 様	実施日時	2009/12/11	受講者 No	09121112
教官名		実施場所	城西自動車学校の周辺一般道路		

リッターあたりの走行距離(燃費)の比較

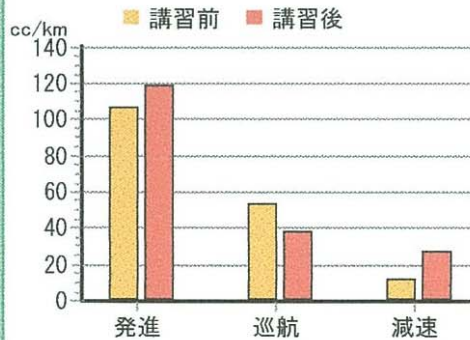


講習後のあなたの燃費は **13.8%** 改善しました

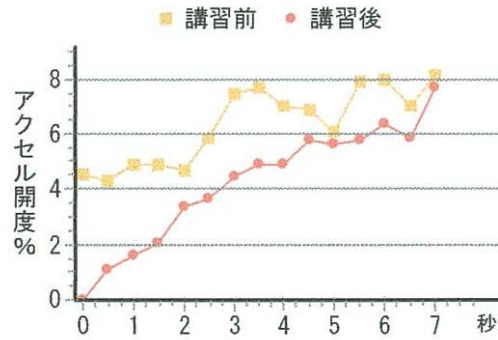
走行データの比較

	講習前	講習後		講習前	講習後
燃費(km/L)	15.16	17.26	停止時燃料消費量(cc)	21.98	19.78
燃料消費量(cc)	158.91	138.21	巡航時速度変動率(m ² /s ² /km)	473.68	286.89
走行距離(km)	2.41	2.39	停止時間(sec)	300.00	311.50
走行時間(sec)	683	717	停止回数(回)	8	11

走行パターン別の燃料消費量



発進時のアクセル開度



CO₂削減効果

今回の講習で習得したエコドライブを実践し、1年間に1万kmを走行した場合、CO₂削減量は以下の通りです。

$$10000\text{km} \div (\text{講習前燃費 } 15.16 \text{ km/}\ell) - 10000\text{km} \div (\text{講習後燃費 } 17.26 \text{ km/}\ell) = 80.26 \ell$$

ガソリン1ℓで2.32kgのCO₂が発生しますので、1年間の削減量は $80.26 \ell \times 2.32\text{kg} = 186.19 \text{ kg}$ となります。

杉の木1本の年間CO₂吸収量は約14kgですので、 $186.19 \text{ kg} \div 14\text{kg} = 13.3$ 本を植えたことと同じ効果があります。

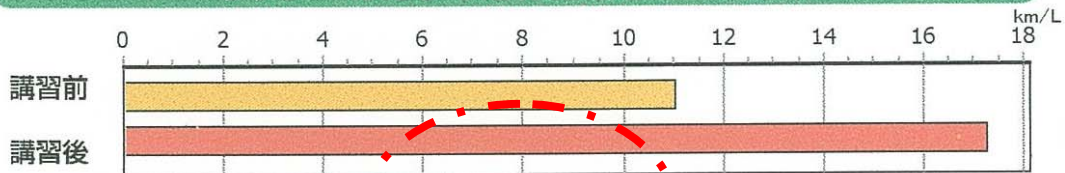
講評

エコドライブ講習 診断書

城西自動車学校

受講者氏名	S 様	実施日時	2009/12/11	受講者 No	09121111
教官名		実施場所	城西自動車学校の周辺一般道路		

リッターあたりの走行距離(燃費)の比較

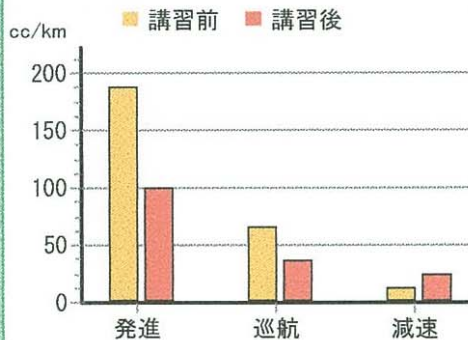


講習後のあなたの燃費は **56.0%** 改善しました

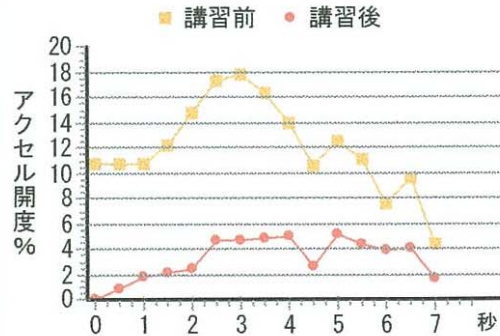
走行データの比較

	講習前	講習後		講習前	講習後
燃費(km/L)	11.10	17.31	停止時燃料消費量(cc)	21.42	21.44
燃料消費量(cc)	220.99	140.20	巡航時速度変動率(m ² /s ² /km)	533.50	224.46
走行距離(km)	2.45	2.43	停止時間(sec)	258.50	258.00
走行時間(sec)	569	631	停止回数(回)	9	10

走行パターン別の燃料消費量



発進時のアクセル開度



CO₂削減効果

今回の講習で習得したエコドライブを実践し、1年間に1万kmを走行した場合、CO₂削減量は以下の通りです。

$$10000\text{km} \div (\text{講習前燃費 } 11.10 \text{ km/}\ell) - 10000\text{km} \div (\text{講習後燃費 } 17.31 \text{ km/}\ell) = 323.20 \ell$$

ガソリン1ℓで2.32kgのCO₂が発生しますので、1年間の削減量は $323.20 \ell \times 2.32\text{kg} = 749.82 \text{ kg}$ となります。

杉の木1本の年間CO₂吸収量は約14kgですので、 $749.82 \text{ kg} \div 14\text{kg} = 53.6$ 本を植えたことと同じ効果があります。

講評

なんと・・・

1年間で、一人は、ガソリン量で、80.26ℓ、金額で約9,792円の削減となり、二酸化炭素削減量が186.19kgとなります。

燃費の改善率13.8%

もう一人は、ガソリン量で、323.2ℓ、金額で約39,431円の削減で、二酸化炭素削減量が749.82kgとなります。

燃費の改善率56%

徒歩、自転車・公共交通機関を利用することが環境にやさしいのですが、車を利用するのであれば、さらに『**エコドライブ10のすすめ**』を心がけた「**エコドライブ**」を実行してみてはいかがでしょうか。

ぜひ、家族や地域の方にもお勧めください。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6% www.team-6.jp